4　取組の内容及び目標

（１）取組の背景

（例）
○○（取組の対象となる品目）は、○○や○○（使用される場面）において使用される物資だが、○○（取組の対象となる品目）の○年の市場規模は○円、○等の需要増加に応じて、○年には○円まで拡大する見込み。当該物資の供給が途絶した場合、その用途上の理由から、○○（当該物資の使用等によって行う措置等）を行うことが困難となり、国民生活に甚大な影響を生じさせる蓋然性がある。しかしながら、当該物資はその供給の○○%以上を輸入に依存し、かつ、輸入割合のシェアは特定国の寡占状態に陥っており、供給途絶によるリスクが顕在化している。短期的な供給途絶時においても、当該物資の安定供給確保を図るためには、国内における生産量の増加を図る必要があり、そのため、当該物資の生産に必要な設備を導入し、当該物資について、平時及び短期的な供給途絶時に必要な生産量を確保する必要がある。

（注）安定供給確保を図ろうとする特定重要物資等のサプライチェーンの現状（特定少数国・地域への依存の程度や代替供給・提供確保の可能性等）や取組を実施しなかった場合の供給途絶リスク等の課題、当該特定重要物資等又はその特定重要物資等供給不可欠役務の現在の市場構造、今後の市場の見通し及び世界情勢（国内外におけるシェアの割合や、競合他社の状況等、当該特定重要物資等に係る自社を取り巻く競争環境やその中での自社の立ち位置等）を踏まえ、当該特定重要物資等の安定供給確保を図るために当該取組を実施する必要性について記載すること。

（２）特定重要物資等の安定供給確保に関する目標（見込み）

特定重要物資又はその生産に必要な原材料等の品目名①：
（例）
○○（品目名）の国内における生産・供給量を増加させるため、○○工場において○○（品目名）の生産に必要な新たな設備を導入する。これにより、自社における年間当たりの生産（供給）能力を○%向上させ、安定供給確保取組方針において定める○○（品目名）の国内における年間生産（供給）能力/年のうち、○%を自社で確保することで、○○（品目名）の安定供給確保を目指す。

（注１）安定供給確保取組方針において定められている基本的な目標及び方向性を踏まえ、安定供給確保のための取組全体を通して達成しようとする、安定供給確保を図るために必要な供給・提供能力等の目標を記載すること。
（注２）取組の実施により供給確保を図ろうとする品目の取引先及び供給量並びに原材料の調達先・調達量等又は特定重要物資等供給不可欠役務の提供量等の変更が見込まれる場合はその内容及び目標を記載すること。
（注３）２以上の品目の安定供給確保を図ろうとする場合には、上欄を追加してそれぞれの品目ごとに記載すること。

（３）取組の内容及び目標数値

実施予定の取組種類を下表から選択し、実施予定の取組ごとに具体的な取組内容及び事業計画終了年度において達成しようとする目標数値を記載すること。

取組種類	
１．	生産基盤の整備
２．	供給源の多様化
３．	備蓄
４．	生産技術の導入・開発・改良
５．	使用の合理化
６．	代替となる物資の開発
７．	役務の提供基盤の整備
８．	役務の提供に係る技術の導入・開発・改良
９．	その他

（注）「４．生産技術の導入・開発・改良」には、特定重要物資等の性能等の向上に関する開発も含む。

特定重要物資又はその生産に必要な原材料等の品目名①：			
取組番号	取組種類	目標数値（例：１．及び４．の取組を実施することにより達成しようとする生産（供給）能力及びその増加率。２．及び３．の取組を実施することにより達成しようとする備蓄量及びその増加率）	目標数値を達成するまでの具体的な取組内容
①		（例） 事業終了年度である 20XX 年度において、○○工場（新たに整備した工場）における○○（対象となる品目名）の生産（供給）能力を、事業開始年度と比して○%向上させる。また、事業実施期間中の 20XX 年度においては、○○工場（新たに整備した工場）における○○（対象となる品目名）の年間当たりの生産量を○○（単位）確保すること	（例） ○○（対象となる品目名）について、自国内でのサプライチェーンを確立していく必要があることから、20XX 年○月、～～～な○○（立地場所）に新たな○○（品目名）の生産施設を整備する。これにより、国内における新たな供給源を確保することができる。○○工場における生産は 20XX 年○月開始を予定し、年間当たりの生産能力を○○（単位）確保する。20XX 年○月には、市場への供給を開始し、これにより、事業終了年度には、国内への供給量が○%増加する見込みである。